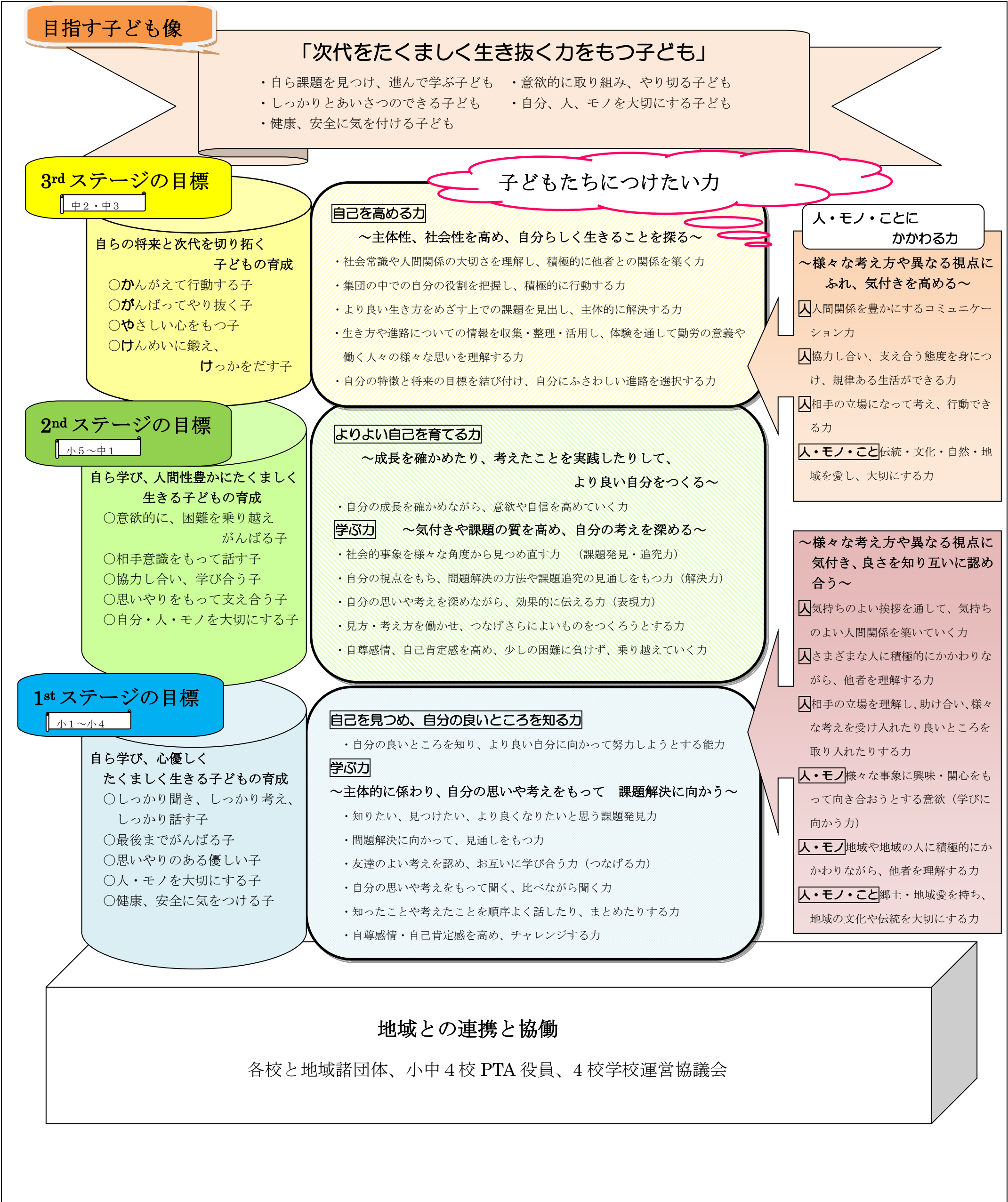


安祥寺中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



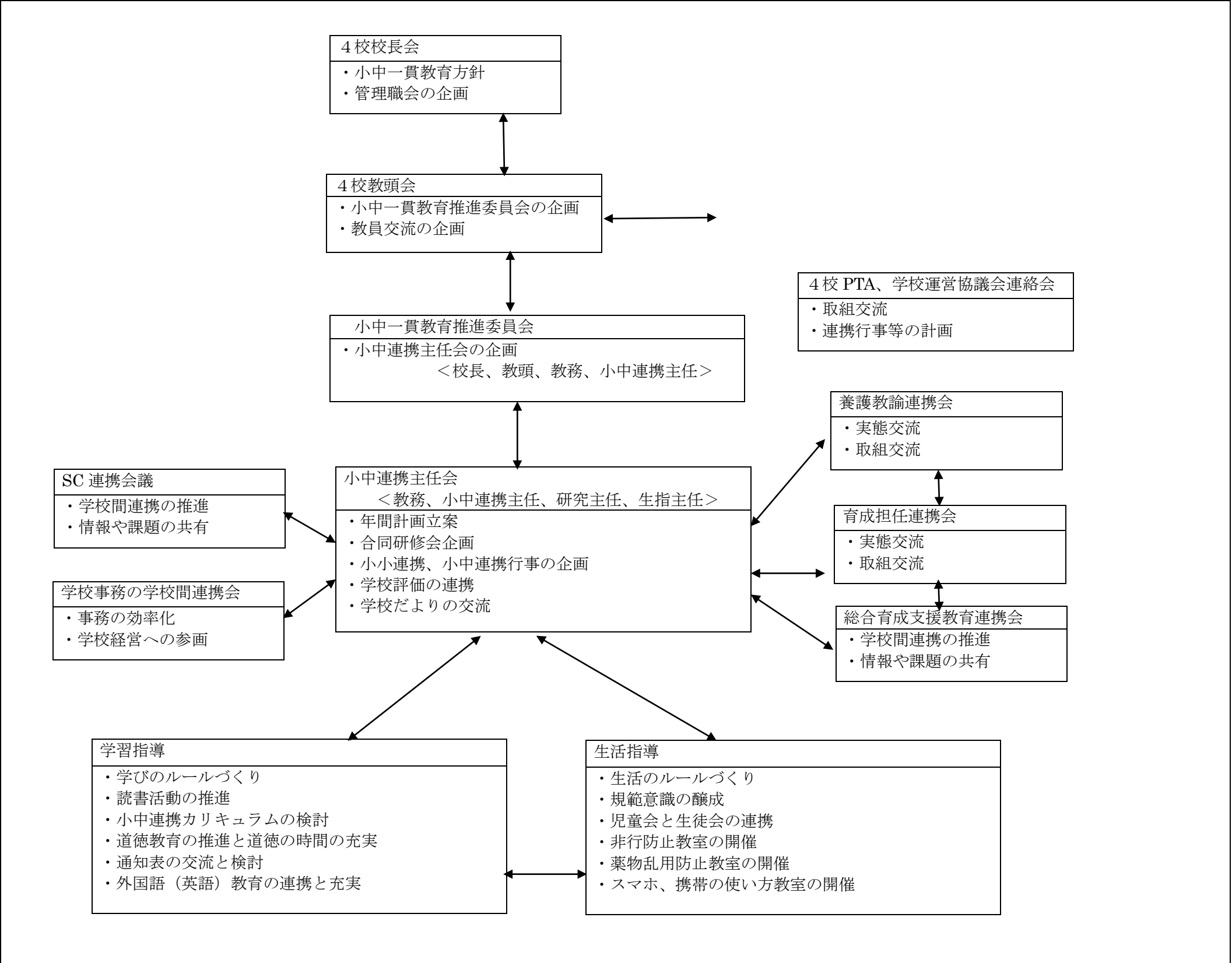
軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力								
「次代をたくましく生き抜く力」			○他者や社会とかかわる力		○自ら学び成長する力		○自己を高める力	
学年または学年区分ごとにめざす姿								
身近な地域や環境の中で、様々な方のお世話になっていることに気付く。 分からないことを尋ねながら、解決しようと努力する。 気付いたことや見つけたことを発表する。 協力して働くことや取り組むことの大切さや楽しさがわかる。			地域や生活の中で、役に立つことや自分ができることを考える。 課題を解決する計画を立てて、取り組むことができる。 日常生活や学習と将来の夢や生き方との関係に気付き、今できることやしなければならないことを考え、努力しようとする。		課題解決のための調査や情報収集等、適切な計画を立てて取り組むことができる。 多様な方法を考え、主体的に解決する。 獲得した情報に創意工夫を加え、より良い発信をする。 体験を通して、働くことの大切さや苦勞・楽しさ、社会生活における役割等が理解できる。		社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を身につけ、進路の選択・決定をする。	
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動								
学校たんけん	まちたんけん	地域探検	エコライフチャレンジ（環境学習）	環境学習 仕事調べ わくわく WORK LAND	地域探究 平和学習	山科の伝統・文化・地域の魅力（探究学習活動）	生き方探究チャレンジ体験	進路選択と実現
園児との交流	お店めぐり		モノづくりの殿堂学習	ジュニア京都検定	ジュニア京都検定			
				あいさつ運動（児童会）				
			古典の日					
					縦割り活動 集団学び			
＜中学校ブロックとしての取組＞ 幼児や異学年、保護者や地域の人々など様々な人と交流することを通して、児童の学ぶ意欲を高め、さらに言語活動の充実を図る。 児童にとって身近にある伝統的なものや文化に触れること、そしてそれを伝えてくださる地域の方との関わりをもつことによって、地域社会に愛着を感じ、地域や伝統・文化を大切にしようとする態度を育てる。				体験活動などを通して、生活は人々がそれぞれの役割を分担し、お互いに支え合い補い合う共存社会の中で成り立っていること、社会の仕組みなどを具体的に理解させ、自らの生き方について考えさせる。 環境や平和について、自らができることを考え、話し合う活動を行うことで、意識と理解を高め、具体的な行動を促す。		地域の魅力に触れ、地域の一員としての誇りをもつ。 「生き方」について考えを広め、自分の未来について考える。	職場体験を通して、自分の適性や将来の仕事について考えさせる。 職場体験を通して得たものを発表・報告することで、自己の課題への認識を深めさせる。	「生き方」についてしっかりと考え、広い意味での進路選択について考察を深め、自己の進路を実現する。

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方・聞き方・話し合いのしかた ポスター発表などで活用	全員に聞こえる声の大きさで話す。 話をする人の方を向いて最後まで聞く。		相手や場に応じて話す。 うなずくなどして、自分の考えと比べながら大事なことを落とさず聞く。 話し合いのしかたを知り、話し合う。		目的や意図をはっきりさせて相手に伝わるように分かりやすく効果的に話す。 相手の意図をつかみながら必要に応じてメモを取りながら聞く。 効果的な話し合いをすることができる力を育む。		相手の意見を受けて、自分の考えを的確に表現する。 話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じてメモを取り、自分の考えと比較しながら聞く。 探究につながる話し合いができる力を育む。	相手の意見を受けて、自分の考えを的確に表現する。 話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じてメモを取り、自分の考えと比較しながら聞く。 探究につながる話し合いができる力を育む。	相手の意見を受けて、自分の考えを的確に表現する。 話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じてメモを取り、自分の考えと比較しながら聞く。 探究につながる話し合いができる力を育む。
読み方	姿勢を正しくして大きな声で読む。		姿勢を正しくしてはっきり大きな声で読む。		姿勢を正しくして相手を意識して読む。			姿勢を正しくして、相手を意識し、その場に応じた読み方をする。	姿勢を正しくして、相手を意識し、その場に応じた読み方をする。
書き方 自学自習・ノート検定につながる	マス目からはみださないように、正しく丁寧な字で書く。 行をかえて、見やすく書く。		マス目や行をほどよくあけて、見やすく書く。 大事なところは線を引いたり囲んだりする。		学習内容や大事な事柄が見やすいノートを作る。 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイント等を付け加える等して、見やすく分かりやすくまとめる。			学習内容を整理し、見直しに役立つノートを作る。 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイント等を付け加える等して、見やすく分かりやすくまとめる。	学習内容を整理し、見直しに役立つノートを作る。 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイント等を付け加える等して、見やすく分かりやすくまとめる。
あいさつ・言葉づかい	大きな声であいさつや返事をする。 ・正しいあいさつや返事の仕方を理解する ・あいさつや返事をする時は、大きな声で元気よく行う				相手を意識したあいさつや言葉づかいをする。 ・自ら進んであいさつをし、低学年の良い見本となる ・相手を見て、しっかりとあいさつをする。 ・丁寧語、尊敬語、謙譲語を理解し、使うようにする。			その場に応じたあいさつや言葉づかいをする。 ・場面や相手の状態を意識する ・丁寧語、尊敬語、謙譲語を適切に使う ・相手に伝わることを意識する	その場に応じたあいさつや言葉づかいをする。 ・場面や相手の状態を意識する ・丁寧語、尊敬語、謙譲語を適切に使う ・相手に伝わることを意識する
学習準備・学習時間	自分で学習の準備ができる。 学習の始まりの時間を守る。				学習時間の開始時間には、きちんと学習が始められる準備ができている。（3分前には遊びをやめて次の学習の準備行動にうつる。）			5分前行動を意識し学習の準備を行うとともに 50分間集中して授業にのぞむ。	5分前行動を意識し学習の準備を行うとともに 50分間集中して授業にのぞむ。

小中一貫教育推進体制



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- ・学校だよりにて小中一貫教育の取組を周知する。
- ・学校評価アンケート項目の統一を図る。
- ・学校運営協議会の部会整理等を図る。